

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年1月31日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	野菜栽培ハウスにおけるバイオマス燃料温風機の導入（廃食油）
承認番号	KC1339
排出削減事業者名	株式会社四ツ郷農業生産組合
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 （その他関連事業者： なし）
事業実施場所	株式会社四ツ郷農業生産組合 （住所：新潟市西区四ツ郷屋字岩山 2205 番地 1）
事業の概要	野菜栽培ハウスの熱源として化石燃料に代わり、バイオマス燃料である廃食油を使用する温風暖房機を導入する事で地球温暖化対策の推進を図る。
排出削減量の計画	2012年度：32tCO ₂ /年 2013~2019 年度：98tCO ₂ /年 2020 年度：65tCO ₂ /年 （事業実施期間合計 783tCO ₂ ）
クレジット認証期間	開始日 2012 年 11 月 1 日 終了予定日 2020 年 10 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号004-C：空調設備の新設

2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日～2017年10月31日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	116tCO ₂ (2015年4月1日～2017年10月31日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 導入設備が稼働していることを現地訪問による確認、及び本実績報告期間における廃食油使用実績により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 承認排出削減方法論及び承認事業計画に従い、事業実施後燃料（廃食油）購入量およびタンク目盛の読み取りによるモニタリングが実施されていることを、根拠資料の確認や関係者への質問により確認した。 2) 活動量の正確性 廃食油の集計データ及び納品書、排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 廃食油の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9により、排出削減量の算定式及び使用さ

	<p>れている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認</p> <p>排出削減量の算定結果を電力量計の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。□</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	<p>今回の実績確認対象期間は 2017年10月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2020年10月31日となっているため、当該算定結果は適切であることを確認した。□</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

排出削減量に相当する再生可能エネルギー利用量について、熱量換算で1,693.6GJであることを確認した。

なお、計画時の削減予定量よりも削減量が大幅に少なくなっているが、農業生産の遅れに伴い、約1年間（2015年度）、設備の稼動がほとんどなかったためである。また、本検証では2017年度は10月末までであるため、温風機の稼動が少ない。

以上